

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 洋上救急における空路搬送の傾向分析をもとにした、早期医療介入の効率化と戦略の探索 に関する研究

### 1. 研究の対象

1988年4月1日から2024年2月1日までの間に、洋上救急事案として海上保安庁によって当院の救命救急センターへ搬送され治療を受けられた方

### 2. 研究実施期間

実施許可日から2026年3月31日まで

### 3. 研究目的・方法

#### 【目的】

わが国は、国土のほぼ全域を海洋に囲まれており、付近を航行する船舶や漁業などの操業中に怪我や病気に罹り、緊急で医療機関での診察・治療を必要とする方々もいます。その方々が船舶会社や行政の緊急連絡手段を用いて救助を求めた場合、海上保安庁が必要に応じて、海上自衛隊などと連携して医療従事者を早急に洋上で治療を必要とする傷病者のもとへ派遣する仕組みがあります。これを洋上救急活動といいます。わが国では1988年からこの制度を運用し、これまで総出動数965件の実績があります。そのうち東海大学医学部付属病院は103件出動実績があります。研究ではこの103件の事例を詳細に分析することで、どのような事故がどの付近で起きているのか、また要請に対してどの程度の時間が必要であるか、場合によっては付近の島嶼で一度治療すべきだったかなど、これまでの派遣事例を詳細に分析することで、より効率的な救助活動の

ありかたや必要な医療の提供の方法を明らかにすることを目的としています。

#### 【方法】

この研究に使用する血液や尿などの検体を採取をお願いすることはありません。洋上救急活動で東海大学医学部付属病院に搬送され、治療を受けられた方々の氏名、生年月日など直ちに個人を特定できる情報は提供されておらず、使用もすることはありません。また、個人の情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料:皆様から提供をお願いするものはございません。
- ・ 情報:海上保安庁の保有する洋上救急派遣事案（洋上救急出動事例）に関する情報のうち、東海大学医学部付属病院が関与した事案について提供された情報から以下のもの。
  - ・ 発生日時・発生場所、船種船名等（日時は月単位まで）
  - ・ 傷病名
  - ・ 出動日時（月単位まで）
  - ・ 洋上救急活動状況

#### 5. 情報の提供先・提供方法

他施設へ情報を提供することはありません。

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：6778）

研究責任者                      救命救急医学領域                      吉澤 大

問い合わせ担当者              救命救急医学領域                      吉澤 大

以上